

(資料1) 熊本市バスケットボール協会 U12 部会

熊本市新人戦におけるガイドラインについて

1 はじめに

バスケットボールという競技の特性において、「3密」は避けられない。また、熊本市立小学校の体育館は狭い体育館が多い。「高齢者が同居している」「近親者に感染リスクが高い人がいる」などの家庭事情がある選手がいても、安心して大会に参加できることが必要である。

以上を踏まえて『新しい日常』になり、以前のような活動ができることはない」という前提のもと、指導者や関係するすべての人が協力して大会を運営していくためのガイドラインを作成した。

2 ガイドラインについて

本ガイドラインは日本バスケットボール協会の「バスケットボール活動再開に向けたガイドライン第2版(令和2年9月10日作成)」及び一般社団法人熊本県バスケットボール協会の「新型コロナウイルス対策ガイドライン(令和3年2月作成)」をもとに作成した。

(1) 大会前に関して

- ① 大会2週間前から体温チェックを行い、記入しておくこと
- ② 大会2週間前から県外への遠征は行わない。
- ③ 大会2週間前から当日までに選手及び指導者が感染した場合は、当該チームは大会に参加することができない
- ④ 大会2週間前から当日までに選手及び指導者が濃厚接触者になった場合は、その選手や指導者は大会に参加することができない

■濃厚接触者の定義(国立感染症研究所感染症疫学センター令和2年5月29日暫定版)

「濃厚接触者」とは「患者(確定例) (「無症状病原体保有者」を含む、以下同じ) の感染可能期間に接触した者のうち、次の範囲に該当する者である。

1. 患者(確定例) と同居あるいは長時間の接触(車内、航空機内等を含む)があった者
2. 適切な感染防護無しに患者(確定例) を診察、看護もしくは介護していた者
3. 患者(確定例) の気道分泌物もしくは体液等の汚染物質に直接触れた可能性が高い者
4. その他: 手で触れることのできる距離(目安として1メートル)で、必要な感染予防策なしで、患者(確定例) と15分以上の接触があった者(周辺の環境や接触の状況等個々の状況から患者の感染性を総合的に判断する)

- ⑤ ①~④以外でも当日に体調不良や味覚障害などが起きた場合は、大会に参加することを見送るようにする。

(2) 大会当日について

①体育館の収容人数について

- ・体育館に入ることができるのは、申込書にある指導者と選手に加えて、サポーター(応援者)とする。
- ・サポーター(応援者)は、15名までとする。
- 県協会の指示により、選手登録している人がサポーターになることはできません。また、同伴する子どもは、年齢に関係なくサポーターとしてカウントします。

②体育館の使用方法について（別紙1を参照）

- ・使用面は1コートのみ
- ・試合が終了したチームが完全に退出してから次に試合するチームが入場すること
- ・体育館に出入りするときは必ず消毒すること
- ・選手はフロア以外ではマスク着用。練習しているときは外してよい。指導者及び保護者は必ずマスク着用すること。（過敏症などで着用できないときは、監督会議のときに各チームに知らせること）

③チームが行うこと

- ・出場する選手は、「大会参加同意書（別紙2）」を記入し、各チームの責任者が保管しておくこと。尚、保管期間は大会終了後3か月とする。
- ・2週間前から大会初日までは、「健康管理チェックシート（別紙3）」を記入し、チーム責任者がメンバー表とともに本部に提出すること。（チェックリストは、協会が3か月保存する）
→県協会の指示により、大会に参加するすべての人はJBAにある健康チェックシートを提出することになりました。
- ・2日目の場合は1日目の翌日から開催当日までの体温を記入して提出する。
- ・チームIDを首からさげる。（IDをさげていない人は**体育館内**に入ることができない。）
- ・各チーム感染対策防止のため、「アルコール消毒」「手洗い用ペーパータオル」を持参する。
- ・クーラーボックス等、共用するものを減らす（使うものは自分のものだけ）
- ・開始10分前のコート挨拶は大きな声にならないようにする
- ・声を出していい時は、試合開始10分前のコート挨拶とプレー中のみとする。
（選手の試合前の声出し及びベンチでの応援は禁止。また、指導者の大声での指導も禁止とする。）
- ・アップ時の円陣は禁止
- ・試合開始と終了時のあいさつの後の握手なし（選手間、コーチ間、審判とコーチ）。
- ・選手のベンチや応援席は、間隔をあける
（最低1mは間隔をとるようにする。また、会場校で設置した場所を動かすことがないようにする。）
- ・出場後やハーフタイムの時には手洗いや消毒を行う
- ・試合終了の挨拶の後の相手チームへの挨拶は禁止
- ・使用したベンチは、必ず当該チームで消毒し退出すること
- ・T0で使用したもの（タイマー、得点板、モップ）は、大会本部が消毒する。
- ・T0で使う筆記用具は、各チームで用意する。
- ・T0を行う場合は、**フェイスマスクを着用することが望ましい。ない場合は必ずマスクを着用し、不要な声を出さないようにすること。**
- ・試合球は、チームで準備しておくことが望ましい。
- ・弁当を含めチーム内のゴミは必ず持ち帰ってもらう（飲みかけの飲料水を手洗い場などに捨てることも禁止する）

④ 審判について

- ・ベンチ入りしていない**帯同審判は**、JBAにある審判用の体温チェックシートを使用し、大会本部に提出すること。提出しない場合は、体育館に入ることができない。
- ・**笛を使用する場合は、飛沫防止のためホイッスルカバーを着用すること**
- ・電子ホイッスルを使用してもよい。

(3) その他

① 保護者の観戦について

- ・原則、上記【(2) —①】以外の保護者が敷地内で応援することを禁止する。しかし、特別な事情がある場合は、競技委員長に相談し、許可を得ること。
- ・観戦する保護者は、本ガイドラインに従うこと

② 大会中止について

- ・熊本市からの要請等を考慮して、中止を決定する。